



No. 388号

2024年4月9日発行

沼津市手をつなぐ育成会

〒410-0822 沼津市下香貫宮脇323-4

尾藤 正弘 (会長宅)

TEL: 933-3922 FAX: 933-7350

尾藤携帯電話: 090-8543-2341

尾藤E-mail: bito3boy@yahoo.co.jp

沼津市手をつなぐ育成会・会報 2024年4月号

色とりどりの花が咲きそろう季節となりました、ではじまる時候のよくある挨拶ですが、今年は急に訪れた感じがあります。3月下旬はまだ肌寒く桜の開花が遅れましたが、4月になったとたん、夏日を観測する地点があるなど急に桜の花が開き春めいてきました。寒暖差（気象病）で体調を崩さないようにお気をつけください。また、黄砂と花粉が相まって、洗車のタイミングが非常に難しいです。

さて、4月1日から新しい年度がはじまりました。コロナ禍ではありますが、育成会では感染症対策をしっかりとおこない、皆さまが楽しみにしている行事や学びの機会をご用意致しますので、引き続き、宜しくお願い致します。

グループホーム見学会に参加して

昨年度に続き、グループホーム見学会に参加しました。予定がありましたが、午前中の見学先に保護者が立ち上げた施設があると聞き、我が家での開設も選択肢にあったため、主人と2人で参加させていただきました。



「クライスハイム岡宮」さんは、開所したての
日中サービス支援型グループホームで、まだ完成



しきれていない部分
もありましたが、細
かく説明していただ
きました。

食事に関しても3食
用意できるとのこと
で、休日の食事情
に心配がないのはあ

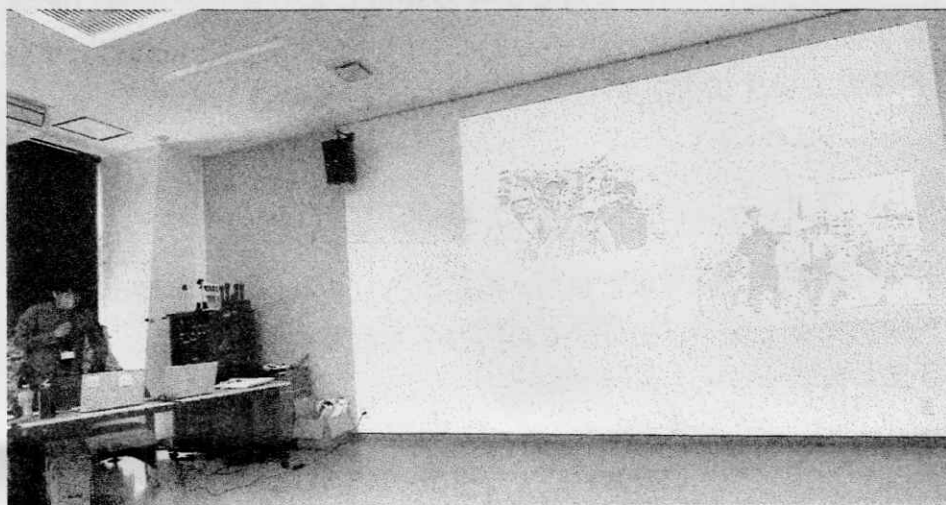
りがたかったです。現時点での息子の生活を考えると、通勤に不便が生じるので難しいと判断しました。



「レヴァンテ沼津」さんは、共同生活援助の施設で、保護者が立ち上げた施設でした。アパートの1階2部屋を借り定員4名でした。体験入居も受け付けていらっしゃるそうで、これからの生活で突発的(介護や保護者の病気)に利用したい場合があると思われることから、体験入居をしてみたいと思いました。

用事ができてしまい午後の見学会には参加できませんでしたが、需要が大きいのか、新しい施設がどんどんできている印象を受けました。去年の見学会で見た施設に息子の体験入居を2回ほどお願いしました。夕方から翌朝までの短い時間でしたが、落ち着いて利用したそうです。が、本人は「僕はいきません!」でした。時間をかけて、徐々に慣らしていくしかないとは思っていますが、ハードルは高そうです。これからも続々と施設も増えていくと思いますので、見学会を計画していただき参加していきたいと思っております。

副会長 岩崎裕美



《お礼》

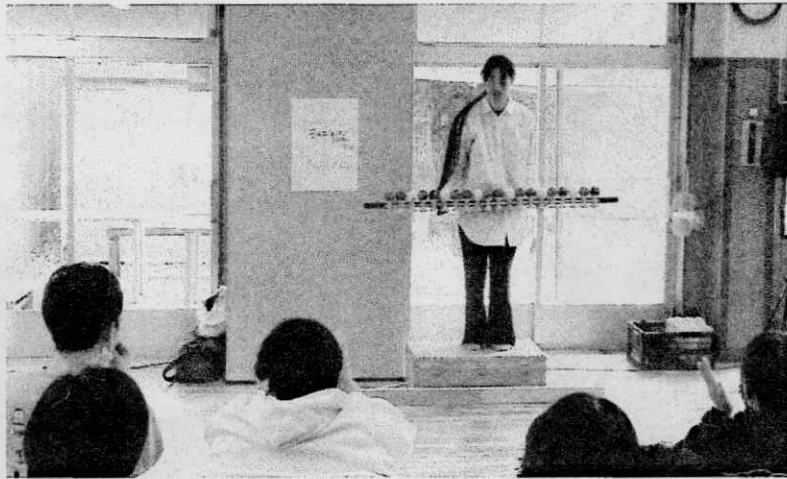
今回も「のぞみの家」鈴木施設長をはじめとする輝望会の皆さま、障がい福祉課の重田さまのご協力により実施することができました。本当にありがとうございました。

けん玉ショー&けん玉教室

《会員特典》



3月21日「のぞみの園」にて、大道芸ワールドカップにも参加されているけん玉パフォーマーのリュウセイさんとけん玉協会静岡県支部・支部長の堤さんをお迎えし、「けん玉ショー&けん玉教室」を開催しました。



前半はリュウセイさんの華麗なパフォーマンス。

長い紐で繋がったけん玉が宙を舞ったり、紐のないけん玉をお手玉のように扱ったり、なんと20個も横に連なったけん玉を一度に成功させたりと、次々に色々な技が繰り出されていました。皆さん、音楽に合わせてジャンプしたり、難しい技が成功すると歓

声を上げたりとすっかり魅せられていました。



後半は、堤さんによるけん玉教室。けん玉を床において片手で掬い上げる「たこ焼き」という技、お手本通りにけん玉本体の上に玉をバランスよく置く積み木のような技、おでこにけん玉の本体を角のようにのせる「カブトムシ」という技など、様々な技を教えてもらいました。皿の上のにせるだけではない楽しみ方に、皆さん夢中になってチャレンジしていました。

当初、少人数で行う予定だった「けん玉ショー&けん玉教室」

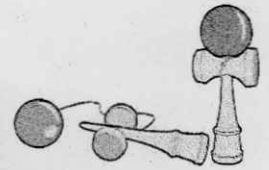


ですが、50名以上の会員さんに参加していただき、大変盛り上がりました。様々な感染症が巷で流行っているため、当日まで開催できるかドキドキでしたが、無事に開催できて何よりでした。長かった自粛生活から少しずつ解除されて、こういったイベントが開けて嬉しく思います。皆さんの状況に合わせて臨機応変に対応してくださいましたリュウセイさん、堤さんに改めて感謝しております。 会計 浅田美重子

「のぞみの園」にて、沼津市手をつなぐ育成会様主催のけん玉パフォーマーのリュウセイによるパフォーマンスに加え、入所者様にけん玉の体験会をさせて頂きました。

パフォーマンスが始まると、手拍子や拍手、歓声があがるなど普段見ることのできない大技に釘付け。けん玉体験では、当日を迎えるまでケガなどへの配慮や、どんなことに挑戦してもらうかなど心配なところがありました。皆さん積極的に体験にも参加して頂き、簡単な技でありながら高度な部分にも挑戦して成功させるなど、予想以上の腕前に驚かされました。後半には大きな笑い声もでるなど支援員の方も含め盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。今回は社会福祉法人輝望会様の各施設からも集まって頂いたこともあり、大勢で楽しめたことにも感謝しております。

けん玉協会静岡県支部・支部長 堤飛鳥



← 全体写真
(^_^)

本人部会「東部地区ふれあい交流会」

3月17日(日)、久々の本人部会による標題の交流会をサンウェルぬまづで開催しました。3階で昼食を済ませてから4階に移動、13時から交流会がはじまり、最初に全員で名刺交換を行いました。その後は東部地区それぞれの育成会の紹介となり、沼津の育成会は7名全員がマイクを握り自己紹介しました。終了後はエミー・タケウチ先生による「音楽で楽しもう！」の演奏と楽しいコミュニケーションがあり、楽しい時間を過ごすことができました。



「就労支援部会」

3月8日(金)、シズウェルにて、県育成会の第2回就労支援部会(以下、「部会」という)が開催され、沼津から参加させていただきました。部会の目的としては、移り行く制度の中で、実際の障がい者(当事者)の就職に関する現状把握が中心です。また、実際に就職をしている障がい者の保護者からの悩みや課題点、どのように解決していったか?などを話し合う場となっています。健常者の保護者はさほど情報がなくても子育てには困らないですが、

障がい者の保護者は変化していく制度や社会、国の考えに対して、常にアンテナを高くし情報収集していく事が必要となり、就労の可能性や環境、当事者の生活や人生にそれ自体が大きく影響していきます。部会で話し合う情報は貴重なものであり、もっとたくさんの人に伝える方法も今後考える必要があるとの話もありました。具体的には、令和6年4月からは合理的配慮が義務化となります。就労の現場では、それを強要しすぎる事でのトラブルなどに不安等がありますが、やはり理解を求める為の話し合いが大切になるとの話もありました。そして、障がい者の法定雇用率についても4月から引き上げになりますが、実際には働く事が出来る障がい者の数が足りていない事や、運営面の困難さから働く為の訓練をする“就労移行支援事業所”が減っているという現状もあり、障がい者が社会参加していく事に対しては雇用率の引き上げだけで解決する問題ではなく、まだまだ課題がある現状についても共有させていただきました。そんな中で、企業の法定雇用率のカウントについて、「重度」の障がい者についてはダブルカウントになると表してありますが、この「重度」の表記に対しての理解も薄く、療育手帳の判定（療育A）であると勘違いされている方が多いとの問題がある様です。この重度の表記は療育手帳Bの判定であっても、県の委託を受けた「高齢・障害・求職者雇用支援機構」の検査を受ける事で、就労的重度との判定がみなされた場合、法定雇用率に関わる重度と認定されます。この判定は手帳の判定とは異なりますが、障がい者が一般就労をする中で定着していく事や、職場で大事にしてもらう事が目的となっているとの事です（窓口はハローワーク）。障がい者が進路を決めて、就職をしていく事を国が推奨していますが、それ自体を取り巻く制度は、企業・ハローワーク等を含めた【労働】と障がい者が実際に関わる障がい福祉課やその付随したサービス（就労移行含め）の【福祉】、そして、その訓練やメンタル面、社会性などを学習として身につける為の支援学校を含めた【教育】の3つが連動していく事で障がい者が社会で活躍できる社会の実現が可能になるのですが・・・実際に管轄が違う事での差異が生じ、それぞれの管轄での制度や考えから、当事者である障がい者やその保護者が悩むケースは少なくない様に感じました。1年間、部会に参加させていただき、今後も情報を共有し、知的障がいを持つ方が社会で活躍できる様、安心して自分の生活を考え選択していく事ができる様、多くの方に現状を知ってもらい、声を上げていく様にしたいと感じました。

事務局 中村芙美子

アビリンピック2024静岡大会（情報提供）

《令和6年度 静岡県障がい者技能競技大会》

- 説明 : 「アビリンピック」とは、障がいのある方々が、日頃培った技能を競う大会です。障がいのある方々の職業能力の向上を図り、企業や社会の人々の理解を広げ、雇用の促進等につなげることを目的とした技能競技大会です。
- 競技種目 : ワードプロセッサ10名、データベース5名、喫茶サービス16名、
定員 : オフィスアシスタント20名、ビルクリーニング12名、木工8名、
表計算5名、販売実務6名、DTP5名、製品パッキング5名、縫製7名、
パソコンデータ入力10名

日程 : 令和6年6月30日(日)、7月6日(土)、7月13日(土)
 会場 : ポリテクセンター静岡、静岡市東部勤労者福祉センター清水テルサ、
 学校法人静岡理科大学静岡デザイン専門学校
 参加資格 : 令和6年4月1日現在で15歳以上、かつ、
 県内在住又は県内在勤若しくは県内の学校に通学する方
 募集期間 : 令和6年4月1日～5月22日
 参加費 : 無料(ただし、会場までの交通費は自己負担)
 問合せ先 : 〒422-8033
 申込先 : 静岡県静岡市駿河区登呂3-1-35 ポリテクセンター静岡内
 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部 高齢・障害者業務課
 アビリンピック担当(電話:054-280-3622)



お知らせ

手をつなぐ育成会定期総会

日時 : 5月26日(日) 9:45～12:30(予定)
 会場 : サンウェルぬまづ2階大会議室
 内容 : 議事、表彰状・感謝状授与
 * 講演ですが、共同通信社特別報道室編集委員の市川 亨氏です。



訃報 : いずみ利用者の鈴木清貴様のお父様、圭一郎様がお逝去されました。
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

訃報 : のぞみの園利用者の大岡ゆき子様のお父様、浩太郎様がお逝去されました。
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【お知らせ】 今まで、育成会から3名の障がい者相談員(湯浅優子さん、渡邊慈子さん、
 芹澤優子さん)が毎月第3日曜日の午前10時から12時までの間、交代制で「サンウェ
 ルぬまづ」3階にて障がいのある方々の相談に対応しておりました。しかし、来館してま
 での相談件数が新型コロナウイルスの影響により激減したので、「サンウェルぬまづ」で
 の相談対応は令和6年3月をもって終了することにさせていただきました。今後は、沼津
 市ホームページの『知的障がい者相談員名簿』にある電話に直接かけてご相談ください。

理事会	5月14日(火)	19:00～	サンウェルぬまづ 3階可動仕切り会議室
会報印刷	5月13日(月)	13:00～	〃 3階障がい者活動交流室
事務局会	4月の事務局会はありません		